

# 看護報告書の作成支援を行う医療用 LLM ソリューション開発に関する 研究 研究実施のお知らせ

株式会社アルム(以下、アルム)は、株式会社プレジジョンと共同で、「看護報告書の作成支援を行う医療用 LLM ソリューション開発に関する研究」(以下、本研究)を実施いたします。

また本研究は、内閣府が主導する戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期補正予算「統合型ヘルスケアシステムの構築における生成 AI の活用」テーマ3:ソリューション/アプリケーション開発の一環として実施いたします。

## 1. 研究の背景・目的

看護師は、患者のケアの他に、看護記録や看護報告書の作成、医師や他の医療従事者との連携、さらに患者やその家族への指導や説明等、多岐にわたる業務を担当しており、看護師の業務負担が課題となっています。

また近年、医療用大規模言語モデル(以下、医療用 LLM)の開発と活用が注目されています。医療用 LLM は生成 AI の一種で、テキスト(文章)に特化した AI 技術です。アルムでは訪問看護等の現場で活用されている「Team」という地域包括ケアシステムを提供しており、Team には膨大な過去症例(看護記録や看護報告書)が記録されているため、Team の過去症例データを教師データとすることで、精度の高い医療用 LLM を開発できる可能性があります。

本研究では、看護報告書の下書き機能を有する医療用 LLM を開発し、看護報告書作成において、看護師の業務負担を軽減することを目的としています。医療用 LLM を看護師が活用し、業務負担を軽減することで、患者のケア等に専念でき、医療の質が向上することが期待されます。

## 2. 研究の対象

2017年9月～2024年11月末までに Team に記録された過去症例

## 3. 研究に用いる情報の種類

Team に記録されている看護記録(年齢、性別、バイタル(体温、脈拍、血圧、SpO<sub>2</sub>)、身長、体重、申し送り事項、家族への連絡事項、最終排便日、観察項目(呼吸器系、循環器系、皮膚、精神、疼痛、食事(経口)、血糖値、睡眠、排便、排尿、排泄介助)、実施事項(入浴、清拭、身体整容、その他、体位交換、経管栄養、排便処置、創傷処置、褥瘡処置、皮膚処置、吸引・吸入、泌尿器処置、HOT、操作・管理・指導、リハビリ動作、リハビリ基本動作、リハビリ予防改善、リハビリその他))および、看護報告書(要介護認定の状況、訪問日、症状の経過、看護・リハビリテーションの内容(バイタルサイン、呼吸器系、循環器系、排泄、保清、処置)、家庭での介護状況、衛生材料等の使用量及び使用状況、衛生材料等の種類・量の変更、特記事項)を本研究で用います。

## 4. 研究に用いる情報の利用方法および取り扱い

研究に用いる情報は、アルムにおいて、個人情報削除し、研究用 ID を付与し、プレジジョンに提供され、アルム及びプレジジョンにて医療用 LLM 開発に利用されます。

本研究で利用する個人情報が削除された研究に用いる情報は、プレジジョンおよびアルムのデータベースで厳重に保管・管理します。

5. 研究実施期間  
倫理審査委員会の承認を得た日から、2026年3月31日まで
6. 本研究への参加とその撤回について  
本研究に、情報を用いられることについてご了承いただけない場合は、研究対象としません。ご了承いただけない場合は、2025年1月31日までに「9.お問合せ先」まで同意撤回のお申し出をください。お申し出いただいた場合でも、不利益を受けることはありません。  
また研究実施期間中、いつでも同意撤回ができます。研究の途中で同意撤回された場合、速やかに本研究での情報の利用を停止しますが、同意撤回のお申し出を受ける前にすでに本研究の利用・評価の対象となった情報については、利用を停止することができません。また、すでに研究結果が公表されている場合も、同様の取り扱いとなります。
7. 研究成果の取り扱いについて  
本研究により得られた研究の成果は、個人が特定されないように統計処理を行なった上で、SIPの会議での発表、学会発表及び学術論文等によって公表に努めます。また本研究により開発された医療用LLMはアルムで利用される可能性があります。
8. 組織と責任者  
【研究機関】  
株式会社アルム  
研究責任者: 坂野 哲平  
  
【共同研究機関】  
株式会社プレジジョン  
責任者: 佐藤 寿彦
9. お問合せ先  
本研究で情報を用いられることについてご了承いただけない場合は、下記の【お問合せ窓口】からお申し出ください。  
  
株式会社アルム お問合せ窓口  
メールアドレス: sip-llm-kango@allm.inc